



ぼらんていあ通信

7月号
通巻 No.452

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2019年7月23日
連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内
TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: http://sagamiva.info/



新理事さん4名が加わり、2019年度理事会はスタートしています！



2019年度理事会は、4名の新しい理事さんを迎えスタートしています。NEWフェイスの方々をご紹介します。

 **加藤 修理事**



この度初めて理事に就任致しました。宜しくお願い致します。
ボランティア協会には基礎講座を受講後入会し、福祉有償運送事業であるハンディキャップ活動を行っています。



活動開始から数年後にハンディキャップ委員会に所属し活動に関する諸問題の検討に加わりました。
私が委員会に所属した当時はハンディキャップ活動に関する収支改善が課題でした。この課題を解決するために利用料金の改定や南連絡所閉鎖等による固定費削減を行った結果、近年は収支上は活動が維持できる状況にまで改善しました。これは検討当時の先輩理事の方々ならびに関係者の「協力・協力」のおかげです。「この場をお借りしてお礼申し上げます。」
現在、社会では働き方改革など色んな分野で変化が起きておりボランティアを取り巻く環境も変化しているのではないかと感じています。

近年はボランティア協会ではハンディキャップなど各部門の人材不足が顕著になっていきます。最大の課題である人材確保のための施策や、今の社会に必要なとされるボランティア協会のあり方を考えて参ります。

 **羽田 彌理事**



初めて理事に就任しました。今まで、ボランティア協会とは、現在、所属している透析者の患者さんである



相模原市腎友会が行う年に一度の講演会・懇談会の会場設営へのボランティア派遣をお願いしていた関係だけでした。理事に就任して5月6日の理事顔合わせ会からその後開催の総会・理事会、講座実行委員会等に出席してボランティア協会がたいへん重要な役割を担っていることを知り、驚いています。関係者のご努力に敬意を表します。その中で浅学菲才ながら私がどこまでお役に立てるか分かりませんが理事としての任務を果たせるよう努力したいと思っておりますので宜しくお願い致します。

今年で23年になります。1週間3回通院して4時間から5時間の透析を行わなければならない為、日常生活の中で時間的に厳しく制限されます。理事遂行に当たっても、時間的な面でご迷惑をお掛けすることが多々あるかと思っておりますがどうか宜しくお願い致します。

 **荒井 善友理事**



ホームページ担当の荒井善友と申します。
よい友達が出来るといい、父が



付けたくれました。
父は59歳で、すい臓がんを患い若くして他界しました。私も49歳ですすい臓がんを患いましたが、早期発見だったので3割の生存率を信じて16時間のOPに臨み、4ヶ月の闘病生活を送り無事に退院しました。もらった命を今後、何に使おうか考えている時に傾聴講座とハンディキャップ活動を知りました。少しでもお役に立てればと思い活動を通じて現在に至っています。沢山のあしがりを頂けて嬉しく思います。



大賞 栄理事



私が所属する市社協市民活動係はあじさい会館2階フロアにあり、ボラ協さんとはお隣同士。情報交換やボランティア養成講座共催など、いつも大変お

世話になっております。

入職して25年目、業務を通じて、人生の多様さや光と影、人はだれもがそれぞれの境遇で、地域で、一生懸命生きていく、ということを感じます。人の役に立つことを喜びとし、助けてもらったり恩返ししたい、という人々の純粋な思いや活動にたくわん接する日々が魅力的なものです。

相談員、ホームヘルパー、ケアマネジャーと職名は次々変わり、ボランティアセンターも担当してきましたが、個別支援の現場で多くの方の暮らしを身近かに拝見し、得難い経験させてください。このことは私の宝物になっていきます。

このたび拝命しましたボランティア協会理事活動を通じて、社協職員立場から、誰もが自分らしく生きていくお手伝いをする市民福祉活動の魅力を発信し「思い、行動力、持続力、つなぐ、受け取る、感謝の心、伝える言葉」の力を手伝いすねば、だれにもある優しい気持ちや循環させていくのだから、と励みと一緒に考えボランティアの事業に貢献したいです、と思っております。



Twitter

ぼらんていあ通信版 ツイッターコーナー

『初恋』に出会えて

白倉健一(70歳)



ハンディキャップの運転手を始めて20年近くになりました。また仕事を続けているので数多くはお手伝いできませんが、この4月から週3日勤務になったので少しはお受けできるかと思っています。

運転の予定が入らない余暇を利用して、以前から続けている「中山道歩き」を進めています。日本橋から歩き始めたのが5年前。年に数回歩いて板橋宿、大宮宿、高崎宿と過去の2年前には碓氷峠を越えて信州入り。私の生まれ地です。

現在までに和田峠を越えて洗馬宿、奈良井宿、木曾福島の関所跡まで進みました。

中山道の中でも木曾は観光地でもあり、ボラ協の介助者に登録している妻も観光気分と一緒に歩き始めています。そして島崎藤村も一緒に歩いています。

「小諸なる山城のほろり・・・」から「木曾路はすべて山の中だぞ」。そして木曾福島は「まだあげ初めし煎餅の・・・」『初恋』にも出会いました。

青春時代を思い出してニューチューブに合わせ大きな声で歌っています。歩いたり唄ったり、旅の記録をホームページにまとめてたり、認知症予防になるべくしゃかむ。いじわるも練習して歩きます。そして運転手も80歳定年が近づいてきます。

8月の記念日は？

小倉義男

8月18日、高校野球記念日です。1915年8月18日に、高校野球の前身である第1回全国中等学校優勝野球大会の開会式が大阪の豊中球場で行われたことから、高校野球記念日だそうです。若い力をぶつけ合って真剣勝負。それが、面白いドラマを生み出す力なんでしょうね。()



小倉画

クイズに挑戦

今年は、長引いている梅雨のため、野菜の高騰が心配ですね。今月は野菜の栄養を効率よく摂取するための必要な知識の確認クイズです。

① 家庭で消費される生鮮野菜は(主要な13品目)の国産比率は、

- ア) ほぼ100%
- イ) 80%
- ウ) 60%
- エ) 50%以下



② 鉄分が最も多いのは、

- ア) 枝豆
- イ) ネギ
- ウ) パセリ
- エ) ほうれん草
- ア) マツタケ
- イ) 鉄分
- ウ) 葉酸
- エ) カルシウム

④ 次のイモ類のうち最もカロリーが低いのは、

- ア) かしき芋
- イ) じゃが芋
- ウ) 長芋
- エ) 里芋

*日経新聞「フリース」より

オンラインイベント

みえないいびき体験講座開催のご案内

中学1年生手話・要約筆記体験

視覚障がい者への共感から共生へ！



去る6月26日(水)市立鶴野森中学校で相模原市社会福祉協議会みえないいびき体験講座が開催された。5講座あるうちの1つ、手話・要約筆記を取材。小田急線相模大野駅からJR相模原駅行きバスで「相模病院前」下車。16号線から見える学校までは5、6分。12時30分講師控室の木工室で待機しているリーダーの生徒さんが挨拶に見え45分になるころの生徒さんが1年4組の教室に案内された。

始めに、生まれつき聴覚障がいのある廣西さんが、耳の聞こえない両親に頼った暮らしから、結婚して自立するときの様子を話した。必要な目覚まし時計は枕の下に置き、起きる時間に鳴り出す振動で目を覚ますことで、振動で感じ取るという仕組みがあるのがわかった。



廣西さんに手話を習う生徒さん

次に手話の実践に入り、「わかる」「わからない」「もう一度お願いします」「いい」「悪い」などに数字を組み合わせたリット、生徒さんは皆真剣に手話に取り組んでいた。手話以外に聴覚障がい者とのコミュニケーション方法としては、



土屋さんのお話真剣に聞き入る生徒さん

などどのような対応するかを早速手話を使って実践してみる。二人一組(聴覚障がい者とボランティア)で「あー」入行っておくきりこの個別ペットボトル1本を買ってきて下を「う」頼まれた「う」を習ったの手話(身振りを交えて伝える。受けた側は品物を揃えてきたらと手渡すという設定。男の子も女の子も実に呑み込みが早くしかも楽しんでやっていた。次に1年3組の教室に移動。38歳まで聞こえなかった中途聴覚障がい者の土屋さんのお話を伺った(手話通訳は伊藤さん)。耳の聞こえない人には、生まれつき聞こえない人(手話のできる人が多い)、赤ちゃんの頃、病気や事故などで聞こえなくなった人、大人になってから病気や事故で聞こえなくなった人、年をとり耳が遠くなる聞こえにくくなった人などがいる。土屋さんは皆さんに耳が聞こえない体験をぜひしてほしい。タブレットを覗く時の分間音を消して画面だけを見つけた。うもつきのあなご感(あなご)とあなご。私達は1年中ずっと状態の中です。とだけ大変か想像してください。外出時困ることは電光掲示板のない電車に乗った時とか、突然電車が止まって様子が分からない時、病院の待合室で名前が呼ばれても気づかないなど、情報障がいが必要な場面が起きます。

- ①筆記のシエスチャ(身振り)
- ②口話と身振り
- ③口話と身振り
- ④口話と身振り
- ⑤指さし
- ⑥空書き(紙の無い時)などがある。口話の時は口を大きく開けてはつきり言うて欲しいと付け加えた。

この後、実際に避難所

情報が届かないと仕事もできません」と話される。生徒さんは頷くように聞いていた。要約筆記グループ「もみじ」の佐藤さんは、注意として、話の内容を理解しながら、伝えるべきことを正しく伝えること。誰か、うう、うう、何を言ったかを読みやすく丁寧に書く。使ったあなご単語をあらかじめ書いたカッターシートや、写真、OHC、パンフレット、ノートブックなどの利用も考える。ここで、避難所での放送を要約筆記してきた方をOHCに映し出し、必要事項が正確に書かれてあるかを講師の方(高橋さんと湯澤さん)に確認してもらった。大丈夫ですよとお墨付きが出された。最後に活発な質問が出たが、用紙に関しては、うるうるしている方がペンが走りやすく書きやすいとのことだった。

終わりの挨拶後、生徒さんに話しかけると、リーダーの相馬さんは「手話に身振りをプラスして表情も大切なのが分かった。末崎さんは「事前学習にプラスするものがあつた」という感想を聞かせてくれた。この講座を受けた生徒さんは、今後聴覚障がい者が手助けが必要な時は、率先して役立つよう努めるに違いない。何より楽しみながら体験学習に臨んでいたのが印象に残った。(植野・山崎)

クイズコーナー

- ①はアのほほ100%
- ②はウのパセリ
- ③はエのカルシウム
- ④はオの里芋



七月十二日(土) 定例理事会(理事八名出席)

一. 報告事項

◆ 広報委員会

- ・9月より委員会たよりの(仮称)を掲載。
- ・ホームページの作成引き継ぎ業務を進行中。
- ・わくわくの印刷・発行は7月27日(土)発着。

◆ ハンディキャブ委員会

- ・委員会開催日を第3土曜日から第4土曜日に変更。
- ・10号車の代替えについては財団助成以外の方策も検討。

◆ 事務局委員会

- ・南地区のハンディキャブ利用者の受け入れ再開について検討資料としての運転ボランティアアンケートを実施。
- ・事務局の土曜休みについて検討中。

◆ 傾聴委員会

- ・コース別講座(傾聴)は9月13・20・27・10月4日の4回開催。3日目に認知症サポーター講座を行う。
- ・傾聴ボランティア講座の追加募集を行う。
- ・募集受付期間は8月10日～8月30日とした。

◆ その他

- ・ほかほかふれ幹事会(7月19日)にて最終プログラム決定。審議事項

・災害ボランティア及び地域ボランティアネットワークへの対応は今後総合企画委員会にて検討する。

・事務局の特に法人事務担当の人材不足など課題があり、継続して検討するよう確認した。

三. その他

・委員長会議の開催及び予算執行をもっと積極的に行うの意見があった。今後検討する事とした。

次回理事会 8月10日(土) 10時PM

ボランティア協会 8月の予定

日	時間	内容
2(金)	13:00~	広報委員会・ぼら通部会
10(土)	10:00~	定例理事会
11(日)	16:00~	幸せの黄色いレシートキャンペーン
17(土)	13:00~	事務局委員会
19(月)	13:00~	ぼら通8月号印刷
20(火)	13:00~	ぼら通8月号発送
24(土)	10:00~	ハンディキャブ委員会
29(木)	10:00~	傾聴委員会



このマークは
何のマーク?

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることができるマークです (JIS規格)。



※ホールでの運営スタッフを募集しています。ぜひご参加下さい。(フェスタのボランティア募集は8月1日に掲載します)

お問い合わせ
ほかほかふれあいフェスタ2019実行委員会
TEL 042-759-7900

今年も

障がいのある人もない人も一緒に楽しむお祭り!
〇〇『ほかほかふれあいフェスタ』が
開催されます!

日時 10月12日(土)
場所 あじさい会館 & ウェルネスさがみはら前広場
催し



報告

高齢者住まい探し相談会
ボランティアで参加

日時 7月12日(金) ソレイユさがみ
午後1時30分~3時30分
3組の相談者あり。お若い方から高齢者まで、それぞれの相談内容を不動産関係者と、住まい探し相談会の担当者が、親切・丁寧に対応されていました。

(田中(す)・堀)



ボランティア協会委員会の役割と委員

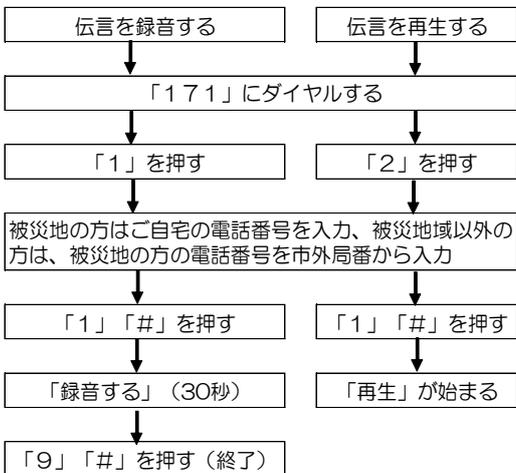


ボランティア協会には8つの委員会があり、協会運営がスムーズにできるよう委員が活動しています。

委員会名	分掌事項	管掌理事	委員
広報 ぼら通部会	ぼらんていあ通信の編集、発行、市民のための広報活動	石関清美	◎小林瑞枝、植野美代子、勝部幸三、杉崎正子、恒藤玲子、服部智子、三十尾幸子、山崎由紀子
広報 情報部会	情報収集と発信、各種情報媒体の調査と活用、ホームページの管理	荒井善友	◎荒井善友、杉本榮治、恒藤玲子、西本敬
広報 わくわく部会	わくわくの編集、発行	高橋 功	◎小倉義男、高橋功、勝部幸三、西本敬、渡邊亮
総合企画	将来計画立案、財政、助成、ボラ協の活動研究、各委員会の検討、理事会の諮問に対する検討	高橋 功	◎西本敬、小倉義男、勝部幸三、渡邊亮、高橋功、小野明雄、杉本榮治、加藤修
事務局	HC運行調整業務、NPO法人事務局の運営、諸機関との折衝、情報の収集と発信	小野明雄	◎小野明雄、石関清美、篠島紀子、佐藤邦子、杉本まゆみ、立石雅子、堀一恵、田中恵子、守屋和郎、田中すすみ
ハンディキャブ	福祉有償運送事業の運営、HCボランティア号の保守管理	加藤 修	◎加藤修、杉本榮治、小野明雄、小川進、下里作衛、加藤宗夫
講座検討	講座育成事業の企画	羽田 彌	◎西本敬、小川紀江、渡邊亮、高橋功、杉本榮治、羽田彌 社協：井上真吾
傾聴	傾聴ボランティア事業及びボランティア育成	石関清美	◎西本敬、高橋功、石関清美、渡邊亮、日高律子、田中孝子、木地本和子

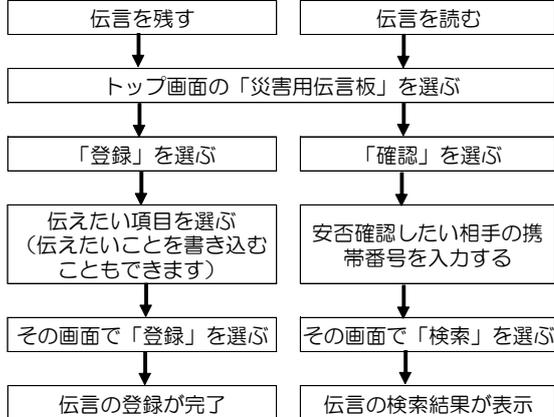
*皆さまも、ぜひ委員会に参加し、ボランティア協会運営のお手伝いをよろしくお願い致します。

☎災害用伝言ダイヤル（固定電話）



「171」にダイヤルし、案内に従って録音や再生をします。1回に録音できるのは30秒までなので、必要な情報のみを簡潔にまとめましょう。なお、伝言の保存期間は48時間。毎月1日、15日などに体験日が用意されています。

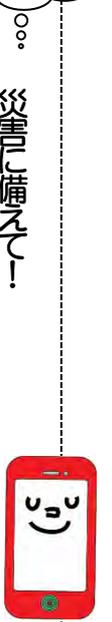
☎災害用伝言板（スマートフォン）



携帯各社による文字を使った安否情報確認サービスです。携帯メニューからポータルサイトにアクセスして使用します。各社とも毎月1日、15日などに体験日が用意されています。

安否確認方法

近年、巨大台風や大雨による災害が世界中で増加しています。またいつ起こるか分からない大地震に備えて、家族や友達の安否確認の方法を再度チェックしてみてくださいね。





ボランティアさん募集!

高齢者施設での囲碁のお相手

内 容 テイサービスにて89歳男性（二段）と囲碁を楽しむ
 日 時 月1回～、金曜日の13時～16時の間の都合の良い時間
 場 所 さがみはら福祉相談センター（中央区星が丘2-14-4）
 ※お車でお越しの際は施設駐車場を利用できます



連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 電話 042(759)7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター 電話 042(786)6181



《平成31年度夏季受託事業ソーメン販売開始案内》

連協さんは、今年もソーメンの販売を始めています。

NPO法人相模原市障害児者福祉団体連絡協議会（れんきょう）さんでは、5月7日より夏期受託販売を開始しました。例年通り下記の商品を取り揃えていらっしゃいますので、お中元等にご利用ください。皆様のご購入をお待ちしています。

- ① 島原小町 (E-33)(化粧箱入り) 標準小売価格 3,564円 → 2,400円
- ② 島原ごころ (F-40)(化粧箱入り) 標準小売価格 4,320円 → 2,900円
- ③ 麺ごころ (F-50)(桐箱入り) 標準小売価格 5,400円 → 3,600円

※販売期間：令和元年5月7日～令和元年8月30日

※販売場所：商品お渡し場所 あじさい会館内 4階 NPO法人れんきょう事務所

※販売時間：午前 10:00～午後 4:00（月曜日～金曜日）

※お問合せ：NPO法人れんきょう事務所まで。電話 042-755-5282

全粒粉ソーメン
もお勧めです!



日照時間不足で、野菜や果物に甚大な被害のニュースに、人間も陽の光が恋しいという思いでしたが、いざ夏間、強い日差しを浴びるとこの先猛暑を乗り切れるか不安になる。全く勝手なもんだが…。

編集後記



《今月のイラスト》

…暑い時にはやっぱりアイス! 《

ご寄付をありがとうございました。

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

＜6月の寄付者ご芳名＞

2名の会員様からご寄付をいただきました。

＜6月の寄付金＞

総額 11,000円でした。

